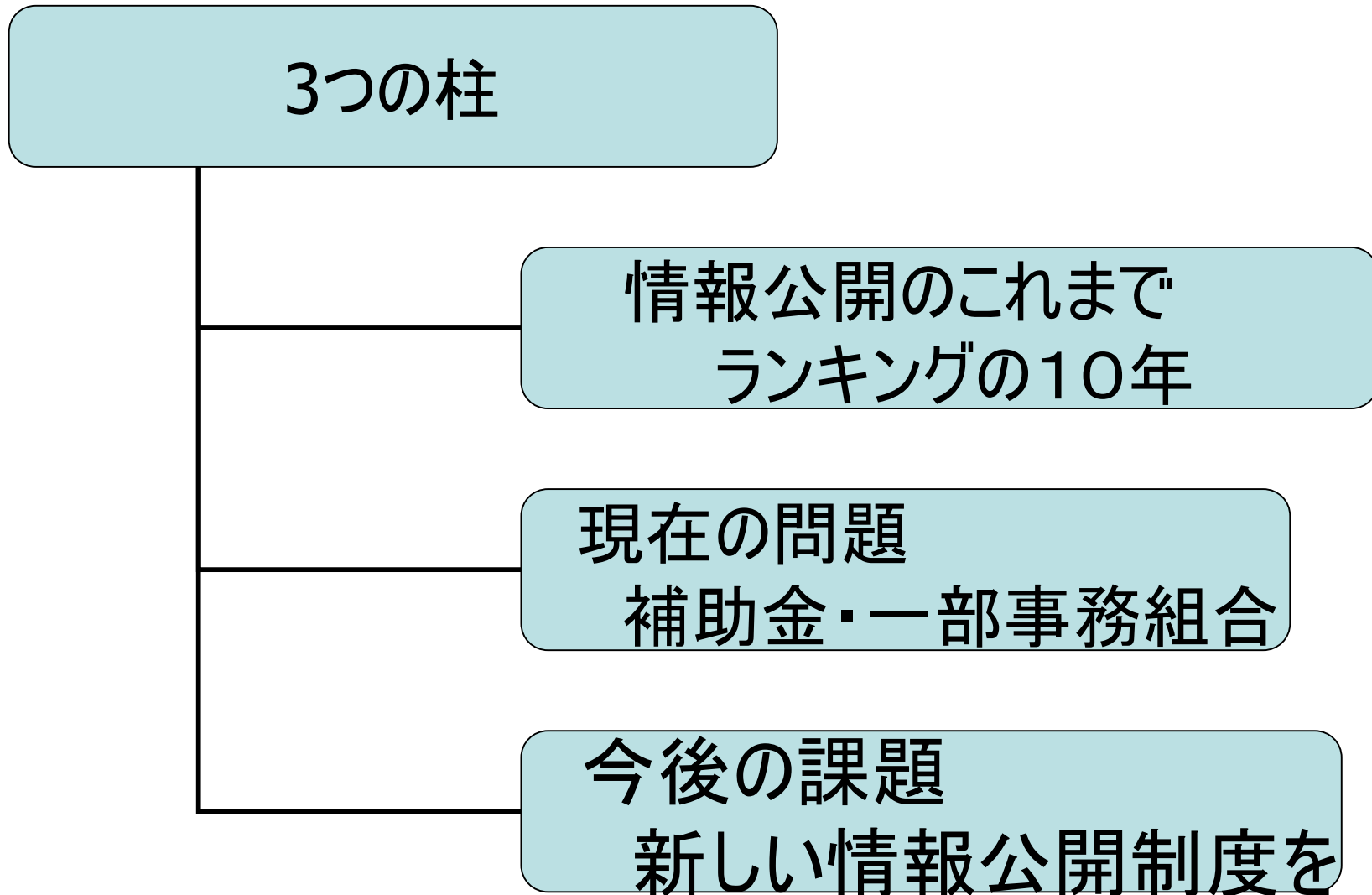


情報公開の今
～ランキング10年の成果と課題～

全国市民オンブズマン連絡会議事務局

1. はじめに



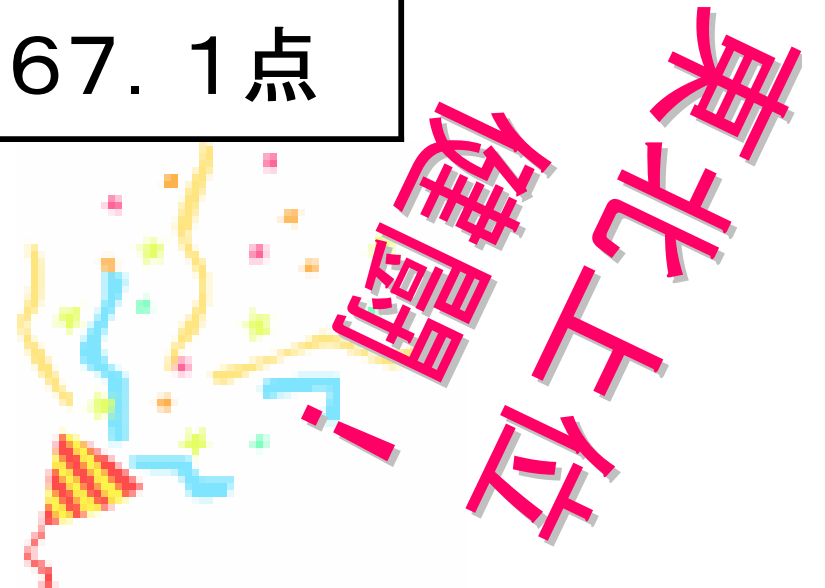
2. ランキングの10年

<内容>

- 総合順位と全体の傾向
 - 都道府県
 - 政令市
 - コピー代の変遷
- 部門別公開度の変遷

過去9回の総合順位ベスト3

	自治体名	点数
金	宮城県	78.4点
銀	岩手県	68.2点
銅	三重県	67.1点



何やってんだか？！

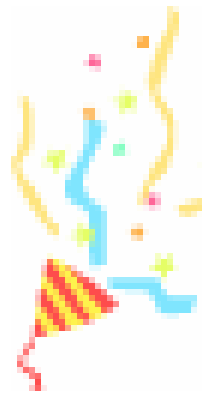
ワースト3

	自治体名	点数
45位	福岡県	35.8点
46位	長崎県	34.6点
47位	宮崎県	32.5点

九州下位
低迷！

政令市のベスト3

	自治体名	点数
金	川崎市	62.8点
銀	仙台市	62.4点
銅	札幌市	61.2点




北方の自治体が健闘

政令市のワースト3

	自治体名	点数
11位	福岡市	48.6点
12位	大阪市	41.2点
13位	北九州市	40.4点

* 静岡市は除く

やっぱり九州勢と大阪市の



情報公開条例の制度運用 ～コピー代10円～

copy-price,10yen



今や10円が当たり前

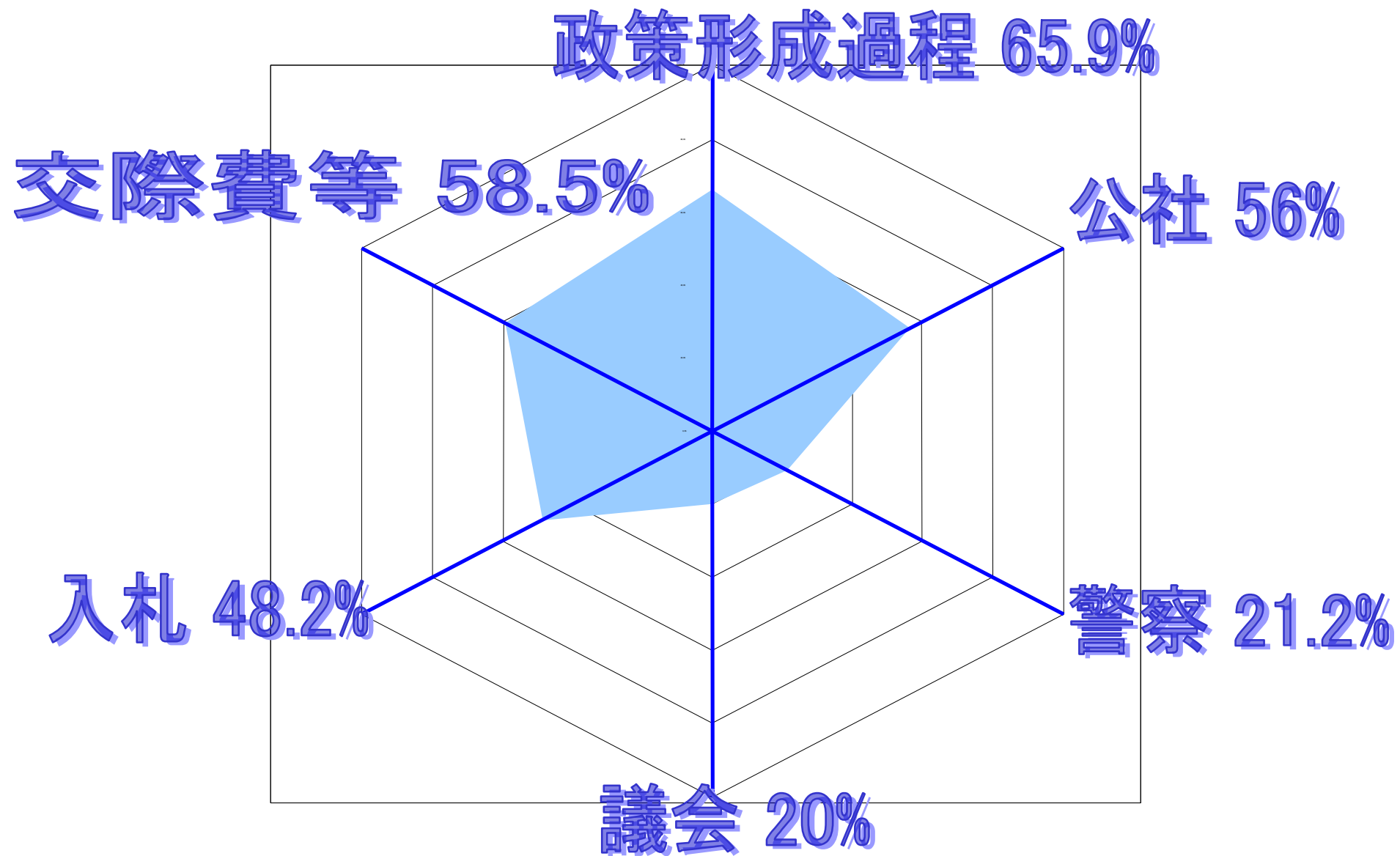
オンブズスタンダードの確立！

部門別公開度の変遷

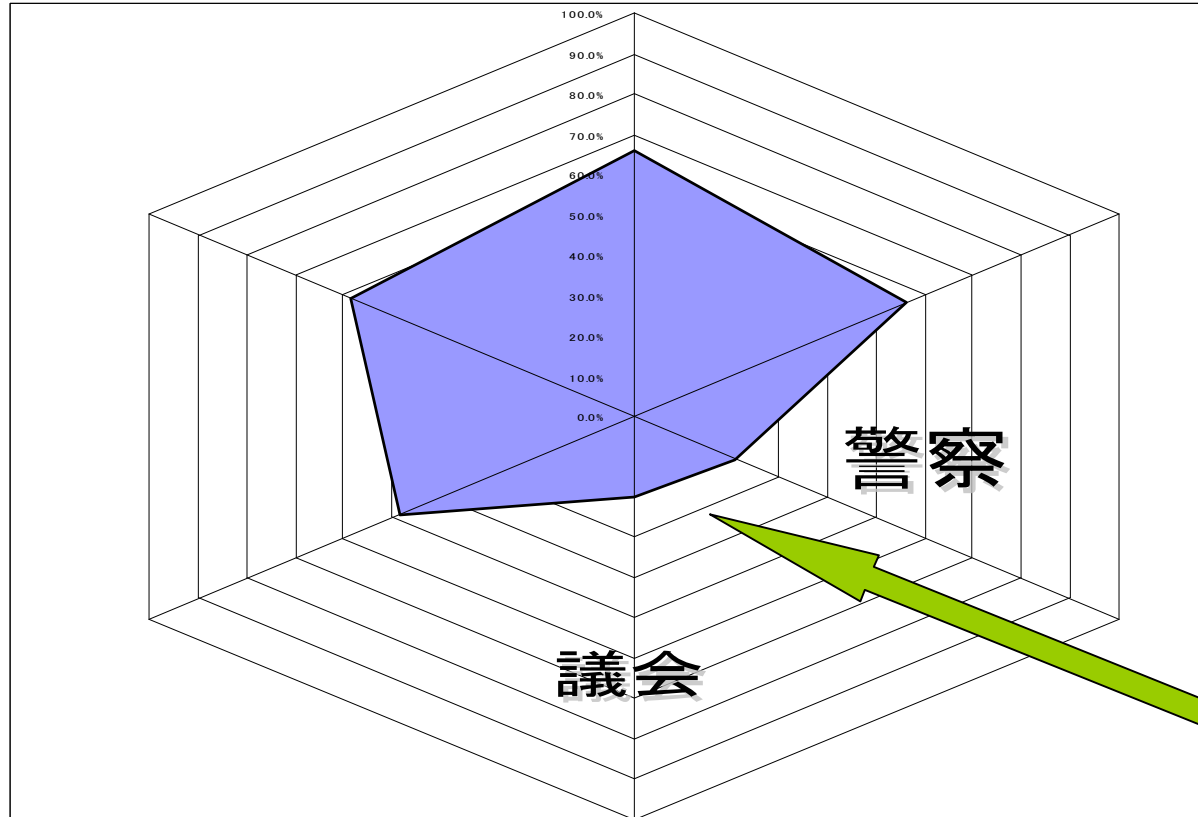
<内容>

- ①得点率
- ②傾向
- ③部門別評価結果

①得点率



②傾向



この部分

議会と警察関係が

低すぎる！！

③部門別評価結果

<内容>

A:首長部局の公費支出情報

B:政策形成過程情報

C:入札関係情報

D:公社情報

E:議会関係情報

F:警察関係情報

A: 首長部局の公費支出情報

<項目>

食糧費(1~3回)

交際費(2~9回)

出張旅費(1~3回)

<公開度の変化>

2回

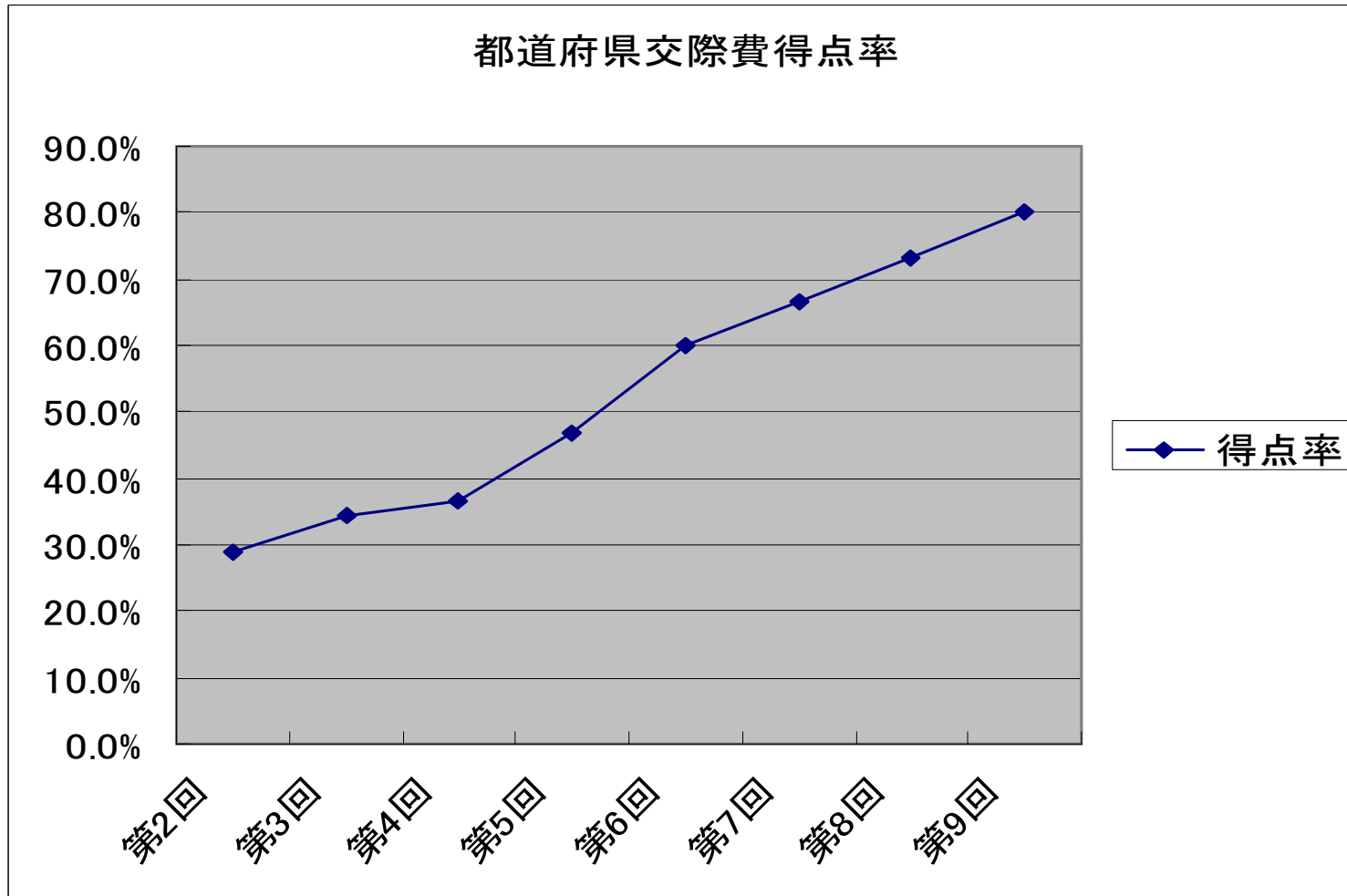
30%弱



9回

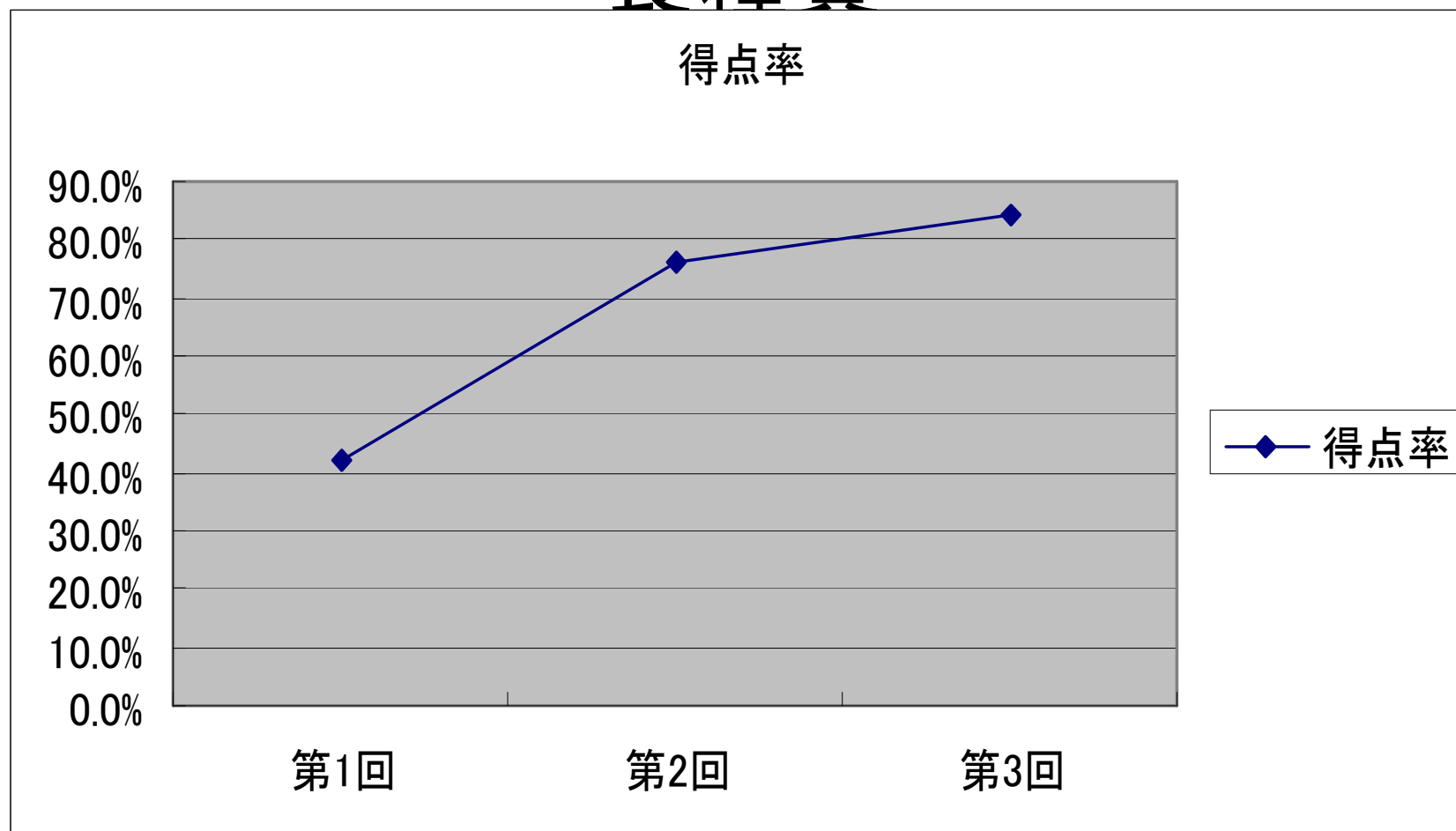
80%

交際費の変遷



オンブズ活動の成果を、ここに見る

オンブズ活動の原点 ～食糧費～



公開度が上がる



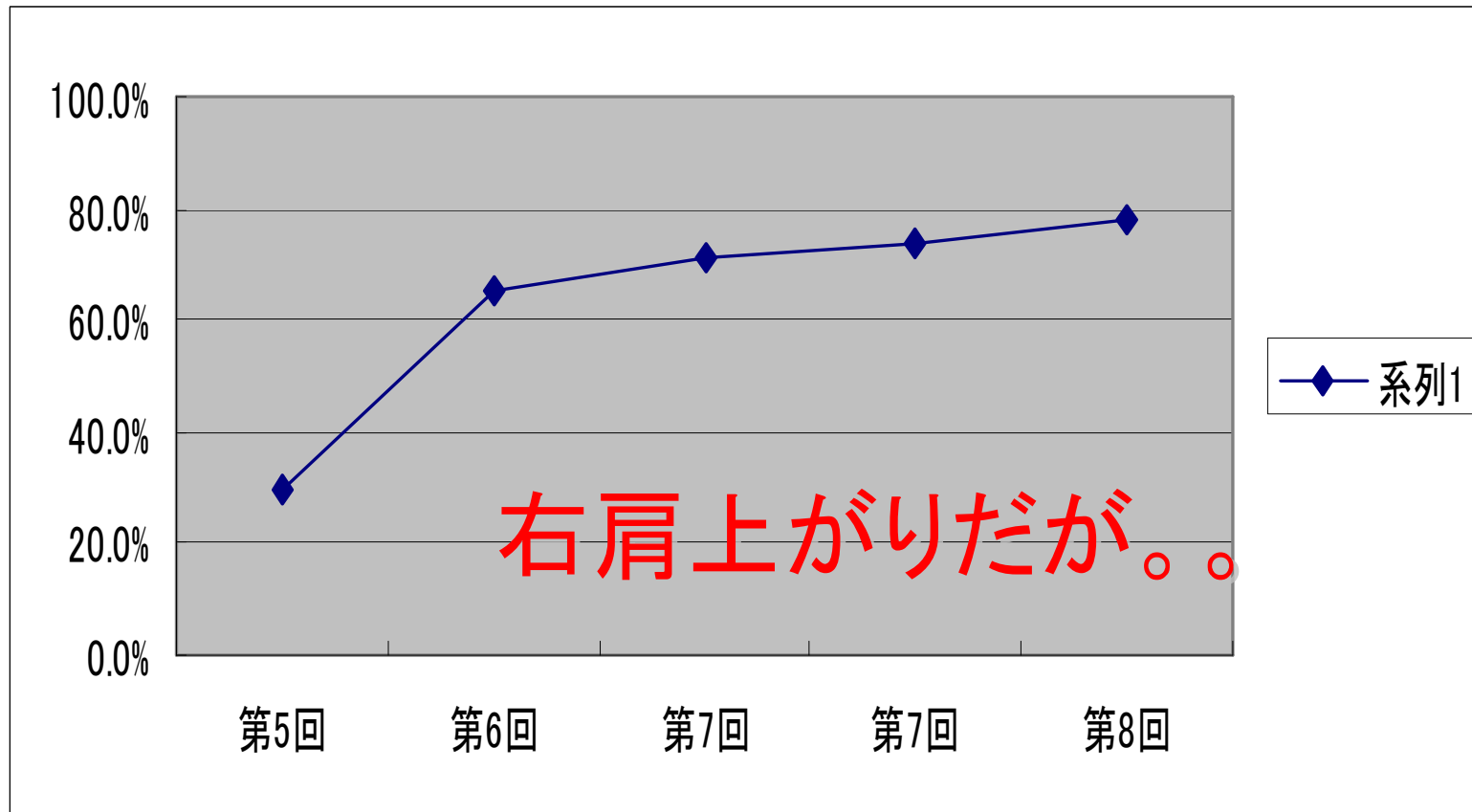
食糧費減額

B:政策形成過程情報

<項目>

予算概算要求書	(第5回)
庁議の議事録	(第6回)
工事成績評定書	(第7回)
監査書類	(第7～8回)

予算の概算要求書の得点率 30%と低い。
他は、65%以上。



<問題点>

1:情報の質

2:公文書として保存されない

C:入札関係情報

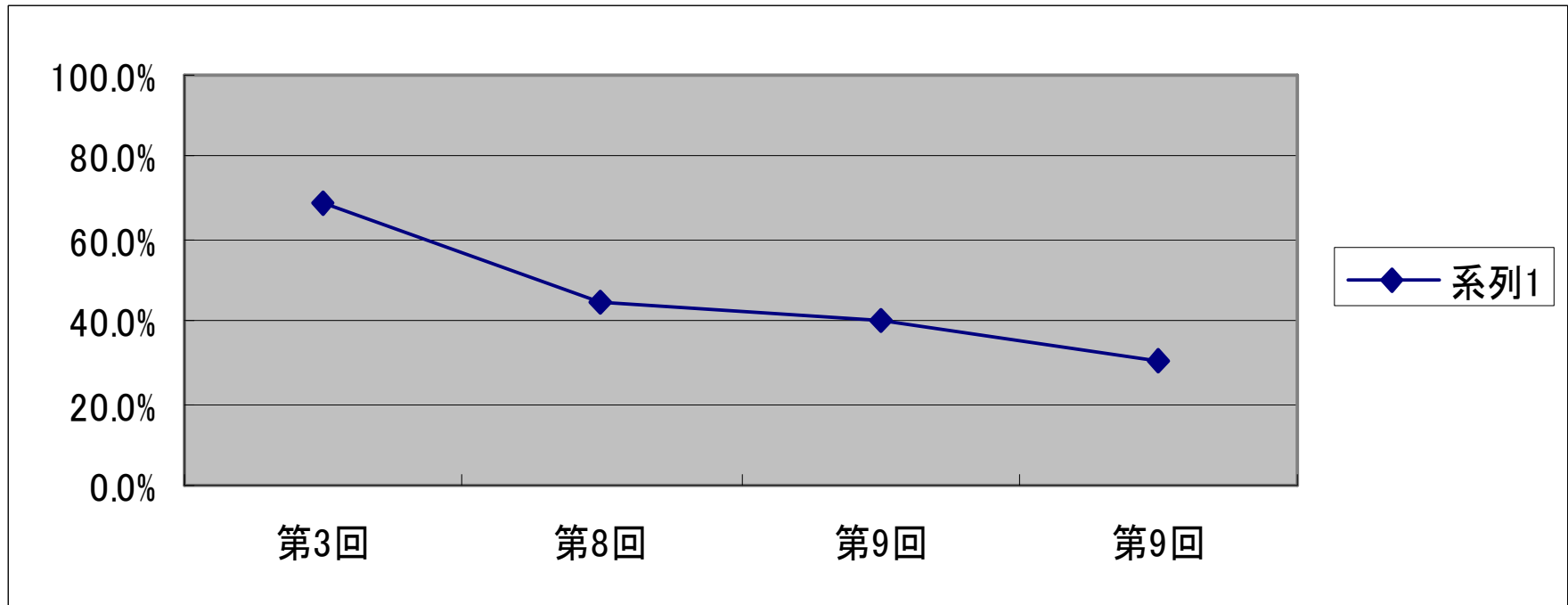
<項目>

入札結果調書 (第3.8.9回)

警察物品予定価格 (第9回)

談合防止を目的として、予定価格情報を中心に調査

右肩下がりの得点率



<問題点>

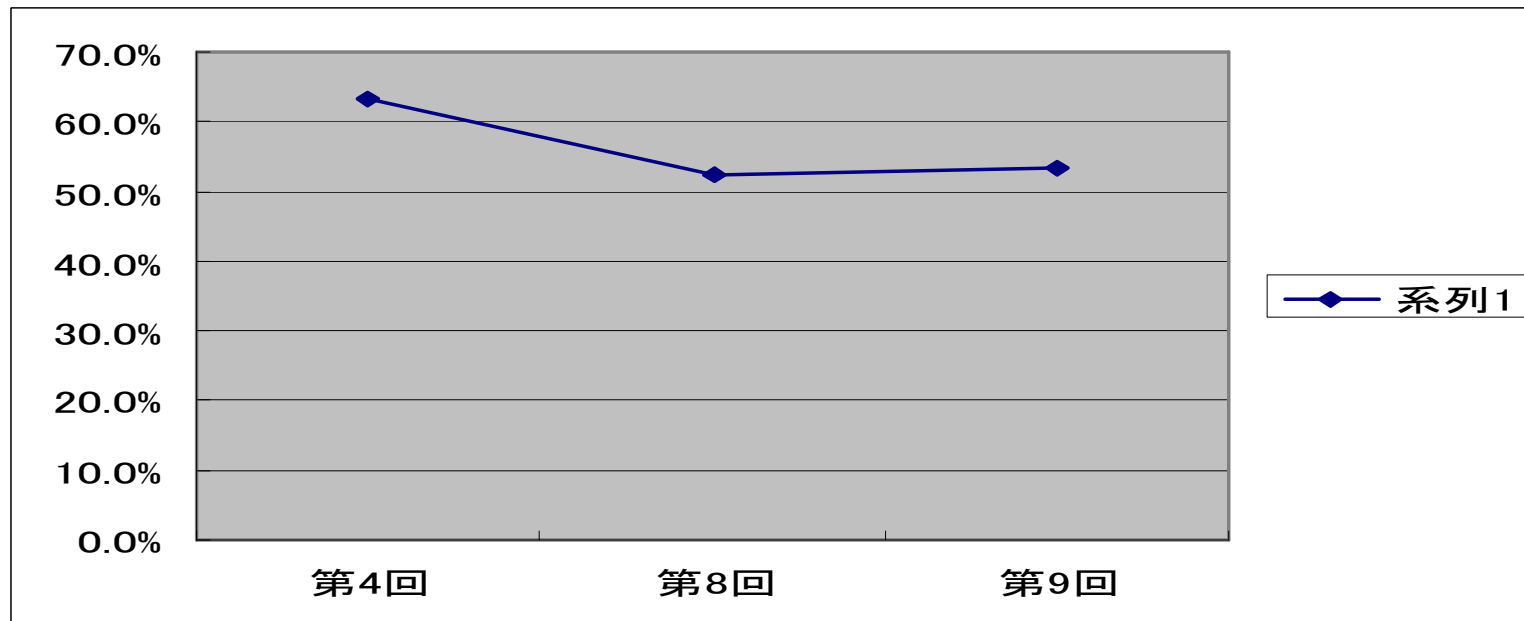
- 1: 工事と物品とで予定価格の公開度が異なる
- 2: 県警所管の予定価格は公開しない

D:公社情報

<項目>

土地開発公社(第4,8回)

住宅供給公社(第9回)



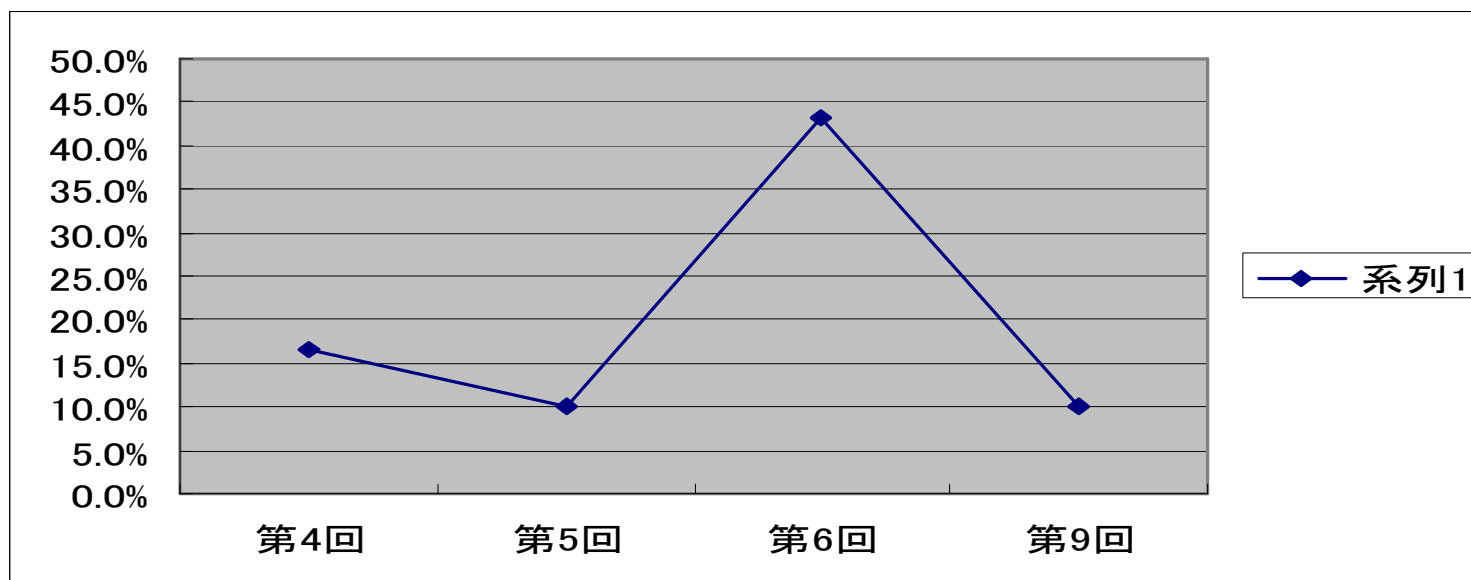
E: 議会関係情報

<項目>

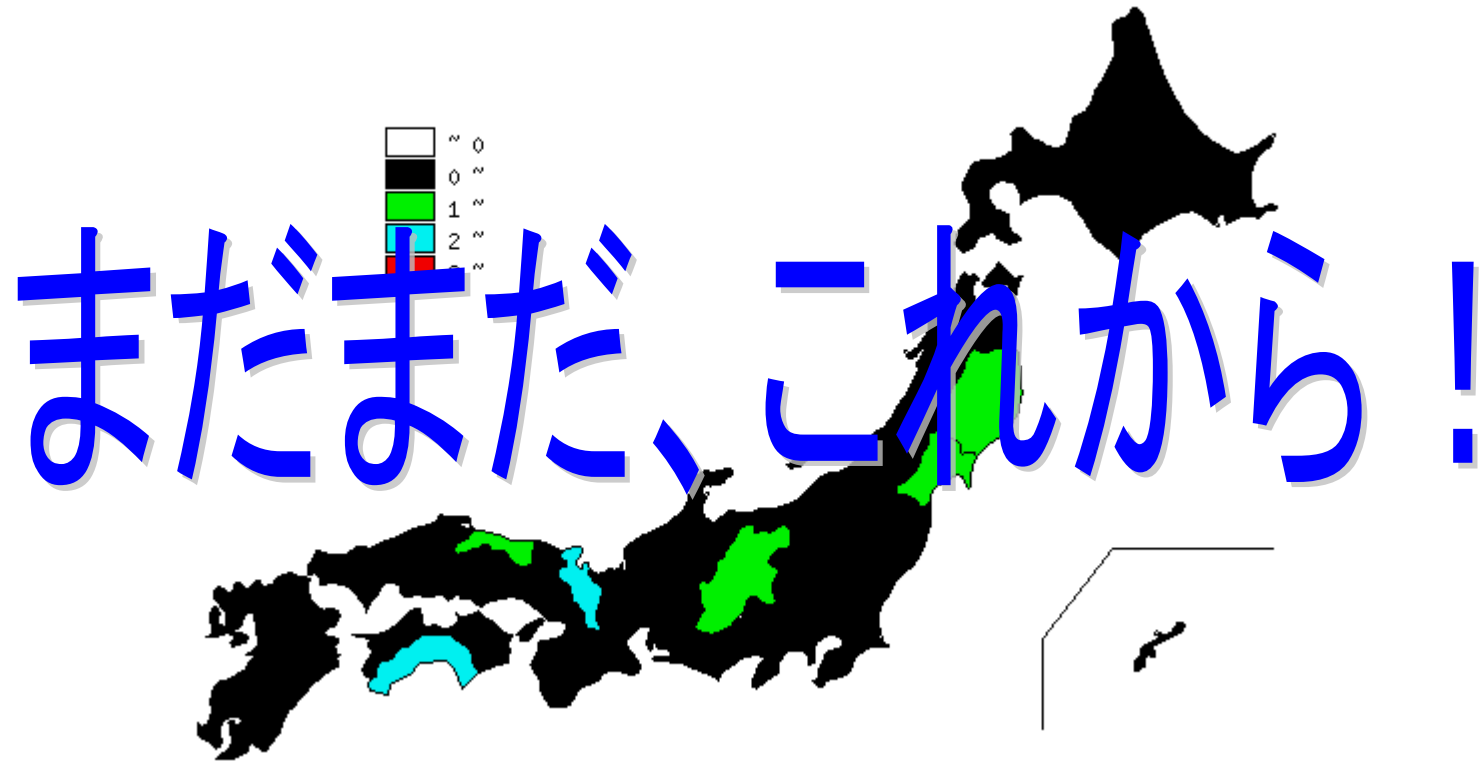
議長交際費(第4回)

政務調査費(第5.9回)

議会視察旅費(第6回)



～政務調査費の領収書公開状況～



2001～2005年度調査分 緑:公開 青:部分公開

議員に一言！！

公開度平均58.5%に対して、議会は20%！！

市民が選んだ公務員なのに、
市民に情報を公開しないとは、何事か！
選挙期間だけ、調子のいいことをいっている。

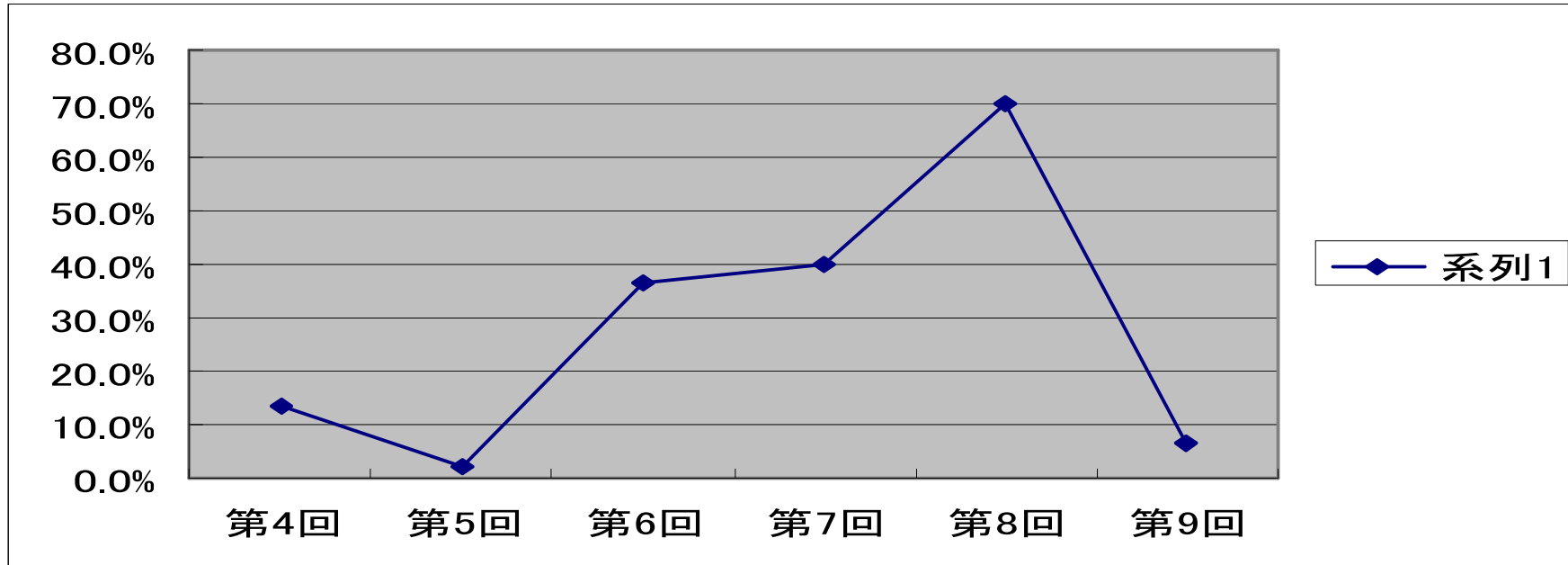
けしからん！！

F:警察關係情報

<項目>

信号機情報	(第4回)
総務課出張旅費	(第5回)
交通安全協会委託費	(第6回)
本部長交際費	(第7回)
激励慰労費	(第8回)
捜査報償費	(第9回)

得点率の変遷

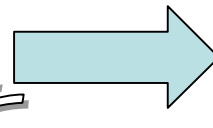


<8回70%(激励慰労費について)>

あまりにも
公開度が
低かった



配点減らし
基準甘くした



70%に!
でも、実際は

やはり、警察は隠蔽気質か

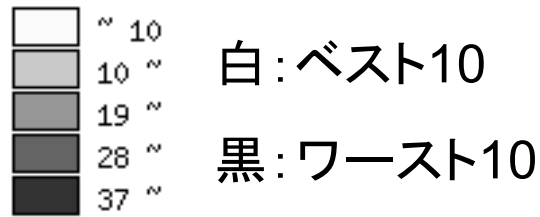
公開度の差は、ここで決まる

<内容>

- ・近隣自治体との関係
- ・首長の交代
- ・公開請求の件数
- ・その他

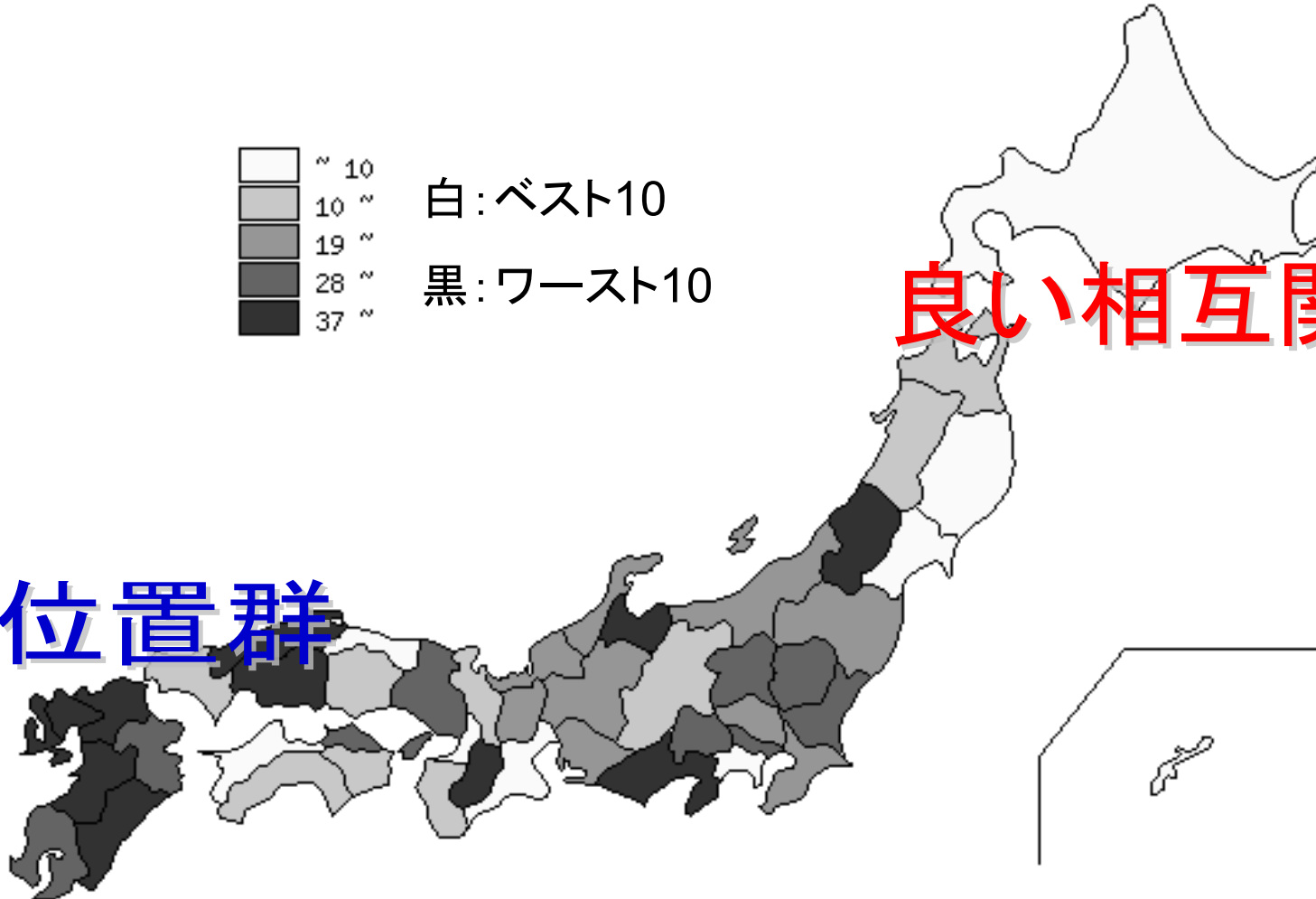
①近隣自治体の影響

自治体間の関係性

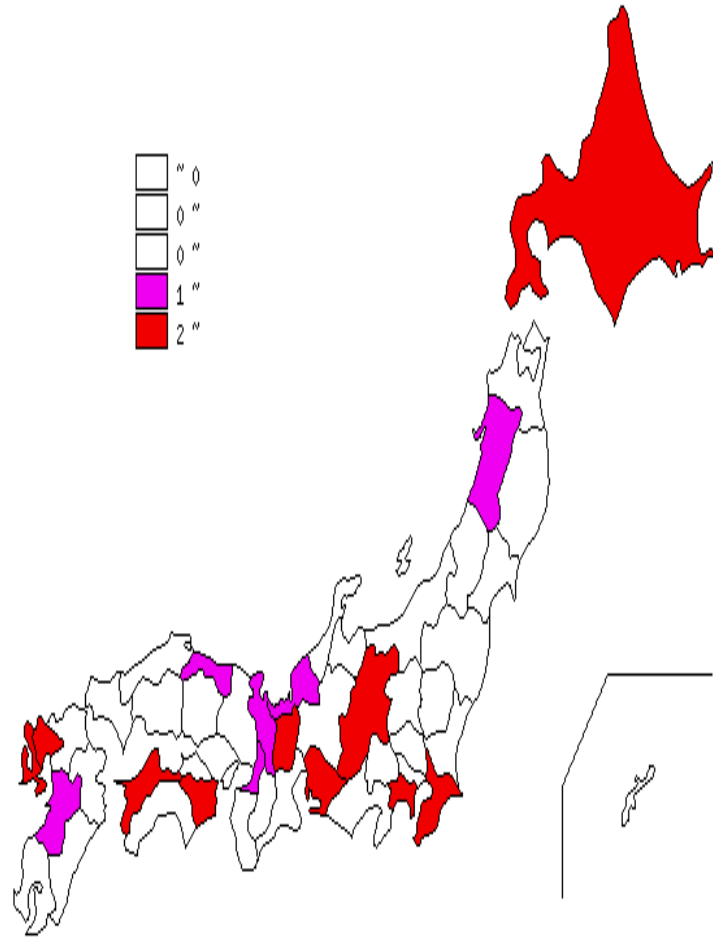


良い相互関係

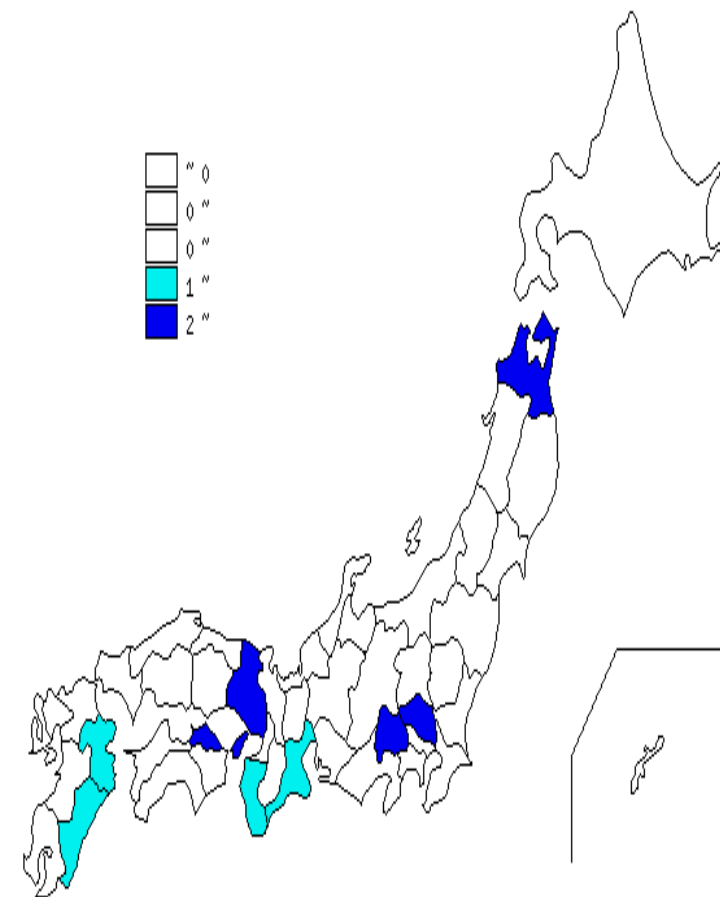
低位置群



②知事の交代



アップした自治体



ダウンした自治体

③公開請求の件数

自治体名	請求件数 順位	公開度順 位
宮崎県	42位	47位
長崎県	40位	46位
山形県	47位	45位

請求数が少ない → 公開度は高くない

④その他の要因

特効薬はないが

訴訟



不正支出の発覚



市民の関心



公開度向上

3. 補助金の透明性調査

<内容>

補助金制度の問題

調査方法

調査結果

どう透明化する？

補助金が不透明だと・・・

- 補助金の既得権化、不正受給
例) 大阪市の職員厚遇問題



- 議員の不当な票田となる

→ 地方財政の健全性を損なう



調査方法

- 調査内容

- ①補助金の交付規則(条例／規則)
について

- 有無、公開方法

- ②補助金一覧表について

- 有無、公開方法、内容

結果報告

- 調査対象 **回答拒否**
都道府県、政令指定都市、~~その他市~~（東京23区含む）

	総数	有効回答数
都道府県	47	47
政令指定都市	14	14
その他市（東京 23区を含む）	748	747
計	809	808

新潟県加茂市
情報公開条例がないため

条例／規則の有無

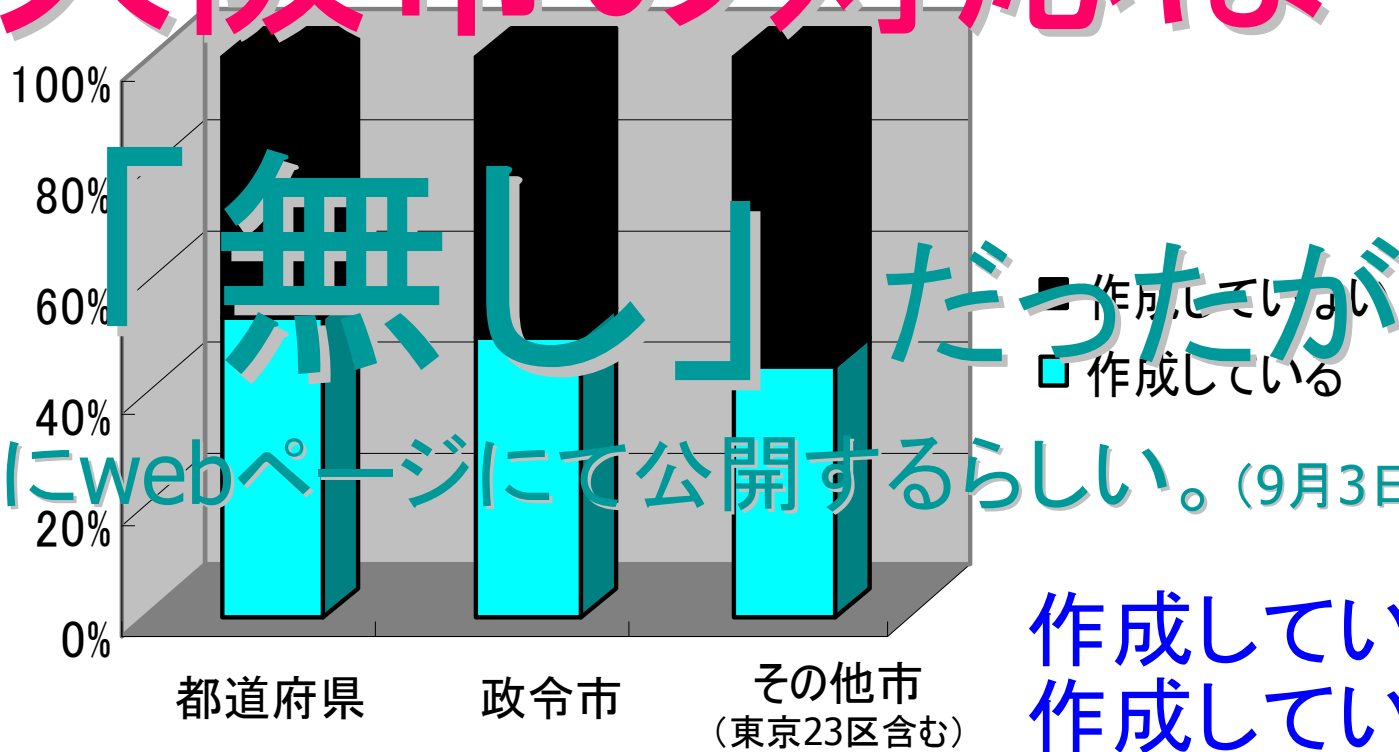
条例も規則もないまま

職員通勤套付の補助金問題



補助金一覧表の有無

大阪市の対応は？



「無し」だったが

11月にwebページにて公開するらしい。(9月3日朝日新聞)

作成している／
作成していない
が半々

補助金一覧表の内容

～情報度の高い自治体～

・ 都道府県

	自治体名	点数
金	秋田県	9
銀	茨城県、神奈川県	7

・ その他市(東京23区含む)

	自治体名	点数
金	長野市、岐阜市	8
銅	大津市、高知市	6

・ 政令市

	自治体名	点数
金	福岡市	9
銀	広島市	7
銅	千葉市、横浜市、川崎市	4

* 10点満点

* 基準を変更すると秋田県はポイント数が下がる

福岡市の一覧表、ここがいい！

- 交付先
- 交付根拠
- 補助金の経過年数
 - 公募／非公募
 - 公的補助割合

などが明らか

4.一部事務組合と情報公開

<内容>

一部事務組合とは？

調査方法

調査結果

一部事務組合って何？

- 一部事務組合とは

地方自治体の事務の一部を共同処理するため複数の自治体が共同して設立

例) ゴミ処理・上下水道・公営ギャンブルなど

- 問題は何か？



県の情報公開条例の対象ではない！

調査内容

①情報公開条例の有無（2005.4.1現在）

対象：47都道府県（総数：2001団体）

②条例制定率の算定

条例を持つ事務組合数 ÷ 県内総事務組合数

調査結果(条例制定率)

- 1位 兵庫県 72.4%
- 2位 鳥取県 63.6%
- ...
- 45位 岩手県 0%
- 45位 広島県 0%
- 45位 鹿児島県 0%



* 平均 16% (2001団体中321団体)

6. 今後の課題

<内容>

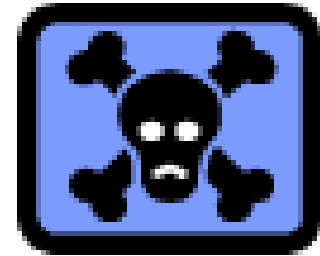
民営化、独立行政法人化

特殊法人・公益法人などへの公金の流れの
透明化の必要性

→公費支出に対する新しい情報公開制度
(民間団体に対しても公費支出の開示
を求める制度)

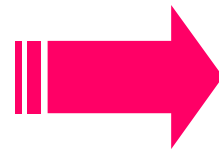
民営化、独立行政法人化

- 情報公開の危機



法改正により...

国(独立行政法人)
自治体の事業



民営化
(指定管理者制度など)

闇の中へ

情報公開法・条例等の
適用なし

特殊法人・公益法人などへの公金の流れの透明化の必要性

1. 日本自転車振興会からの補助金
→財団法人を通じた経済産業省ぐるみの裏金化の発覚
2. 国土交通省地方整備局の天下り団体への随意契約
→2003年度で800億円超
(全国9つの天下り社団法人の収入高)

財団・社団法人は情報公開の対象外

公金支出に対する新しい情報公開制度

- 新しい情報公開制度の提案

1. 法・条例の実施機関化

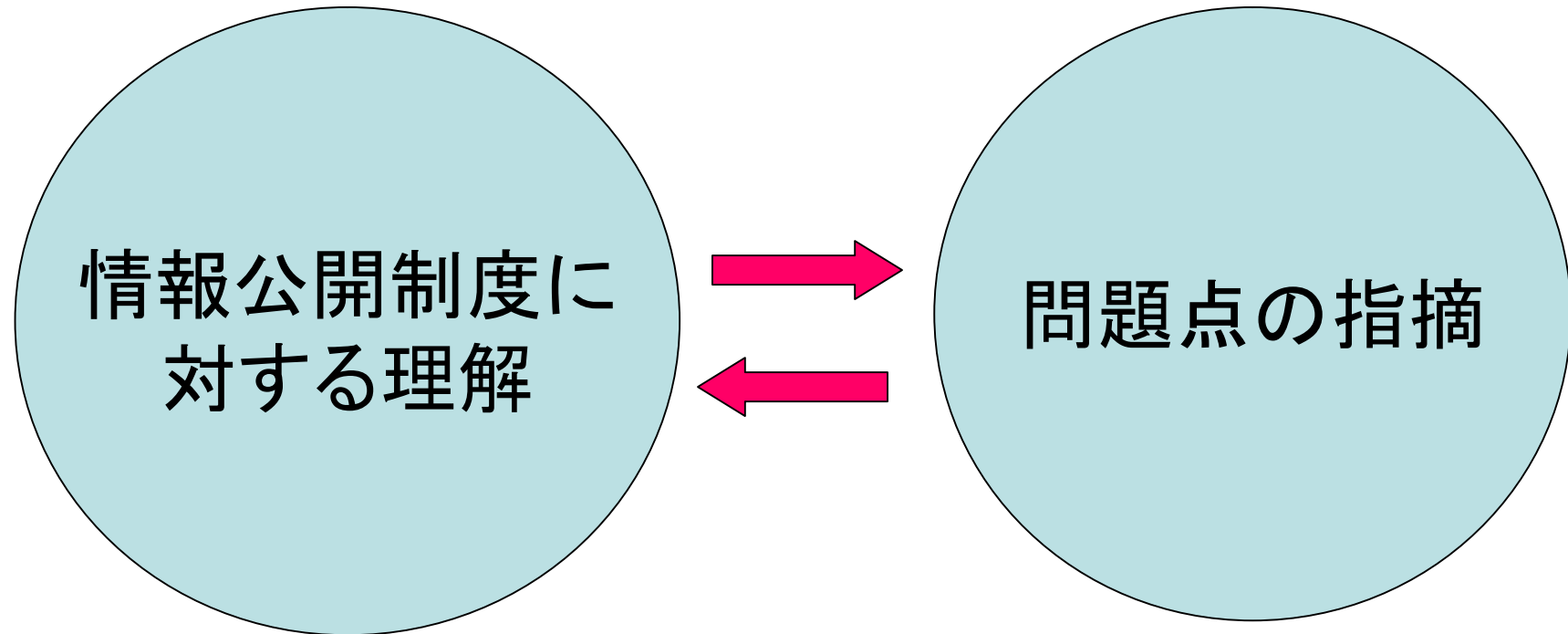
(民営化・地方独立行政法人化・指定管理者制度)

2. 補助金対象事業の情報公開請求を直接求める制度の創設

情報公開度を高めるために

行政

市民



おしまい

Copy right 全国市民オンブズマン事務局

制作者：伊藤、佐治、山本